

The Creation of a Northeast Asia Academic Discipline Project  
The University of Shimane  
Working Paper 3



# 北東アジア学創成に向けて

For the Creation of a Northeast Asia Academic Discipline

宇野 重昭 編

島根県立大学 北東アジア学創成プロジェクト

2003年12月

# 目次

はしがき	宇野 重昭	
序論 北東アジア学創成の試み	宇野 重昭	5
I. 試みのはじまり		
第1章 北東アジア学の試み	宇野 重昭	17
II. 日本の歴史の視点から		
第2章 「北東アジア学」における日本の位置づけ	井上 厚史	31
第3章 政治経済システムの認識方法と「日本資本主義論争」の位置 —山本義彦著『近代日本資本主義史研究』によせて	井上 定彦	41
第4章 西周の対外観と北東アジア	村井 洋	55
III. 政治の視点から		
第5章 北東アジア学と平和研究	田中 聰司	65
第6章 北東アジア地域における重層的統治構造の形成 —「補完性の原則」の視点から	江口 伸吾	85
第7章 もうひとつの「革命」 —中国における個人、女性、国家建設の関係	西野 可奈	99
IV. 経済の視点から		
第8章 北東アジアの持続可能な地域経済システム構築	増田 祐司	115
第9章 北東アジア諸国における国家と市場 —方法論的試み	今岡日出紀	129
第10章 北東アジア経済圏の今後についての一考察	小林 博	149

## V. 新しい視点から

- 第11章 学問としての「北東アジア学」試論  
—「北東アジア生活文化圏」の生成、変遷、相互関係を中心に  
朴 容寛 163
- 第12章 方法としての北東アジア  
—社会人類学の視点から  
諏訪淳一郎 179
- 第13章 北東アジアにおける言語と社会の相互触発  
—中国のコリアンコミュニティを中心に  
朴 永梅 195
- [参考資料]  
北東アジア学教義体系の構築と島根  
—“しまね学”構築への試み  
中島 哲 213

編集後記  
執筆者一覧

備考:

1. 本研究プロジェクトは、財団法人北東アジア地域学術交流財団より助成を受けている。
2. 今回の論文集に収録されているものは、いずれも北東アジア学研究懇談会を通して表明され、本格的な学術論文に向けた中間報告である。しかし、内外からの批評・批判を取り入れるため、出版に附することとした。